

NOSTER

日本農芸化学会2025年度大会
Noster株式会社ランチョンセミナー

多様な相互作用が奏でる 健康ハーモニー

ポストバイオティクス、腸内細菌、
T細胞たちの華麗なセッション

京都市の北東部に位置する大原の里は、京都への一大食料供給地である。とある冬の日の早朝、摘み草料理で名を馳せる料理屋の大將に野草の採集に連れ出された。凍てつく寒さの中、収穫が終わった田んぼの畦道や稲の株間を覗き込み大將曰く「ナズナが遅しく実をつけますわ。ほらここにもタンポポの葉っぱが、あそこにはハコベにタネツケバナ…」。

私にはさっぱりわからなかったが、厳冬の田んぼであふれんばかりの命がハーモニーを奏でているというのだ。さらに大將曰く「食とは命をいただくんです。美味しさは命に支えられています。自然の豊かな命の繋がりは、人が少しでもいらんことをすると、一気に失われます。自然への感謝がないと、美味しいものはいただけません…」

我々の腸管内にも、あまたの微生物がいます。そして、あまたの食が入ってきます。それらの相互作用のセッションが奏でるハーモニーをつまびらかに理解し、支え、豊かな響きを保つことが健康に繋がるのでしょうか。

その最新の理解の一端を皆さんと共有し、健康を支える自然の命のハーモニーを心に奏でたいと思います。

日時

2025年 **3月6日(木)**

12時00分~12時50分まで [会場:B]

座長・総論

小川 順 教授

[京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻]

演題

1. **ポストバイオティクスが腸管で奏でる
健康ハーモニー**

演者 / 小川 順 教授

[京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻]

2. **Blockbuster T cells in the gut**

演者 / Dr. Kazuki Nagashima

[Molecular & Cellular biology, Harvard University]